

## クラブハウスグルメ

### 別府名物てんこもり 自慢のメニューがズラリ!

クラシカルなコースだが、レストランのメニューは新しいモノを多く取り入れている。比較的、安価でボリュームがあるのも特徴だ

**別府冷麺 1080円**  
そば粉を使った麺が思いのほか合う

どれもおいしいよ~!

**鳥天定食 1296円**  
別府名物、鳥天は、サクサクで柔らかい

### 管理の行き届いた美しいグリーン

入念に整備されたベントグリーンは美しく、全くと言っていいほど古さを感じさせない

芝種	刈り高
ベントロス	3.7mm
野芝	15mm
ラフ	40mm

グリーンにはベントロスを採用。シングルカット。フェアウェイやラフも、よく手入れされ美しい

**アプローチとバンカー練習もできます**  
別府ゴルフホテル横にあるアプローチ練習場。宿泊する場合は、プレー後に、ここでゆっくりと練習するのもいい

### 別府ゴルフホテルは1993年に併設

こちらクラシカルな雰囲気を持つ宿泊施設。温泉地らしく、天然露天風呂が好評だとか

### まわるだけで、歴史の息遣いを体感できる

開場当初から変わらない鶴見コースにくわえ、ここ別府ゴルフ倶楽部は1955年に拡張された由布コースも擁し、全36ホールからなる。カジュアルに楽しめる由布コースに対し、鶴見コースは樹齢を重ねた巨木が連なり、重厚感あふれる丘陵コース。杉やヒノキ、松の巨木で完全にセパレートされた各ホールは、「重機を使わず、ほぼ人の手で造った」というフェアウェイを持つ。手造り時代の名残りを強く残した波打つフェアウェイに、当時の面影を強く感じるはずだ。別府湾を望む斜面に造られた18ホールは、いずれも雄大な景観美を持つが、クライマックスはなんとといっても、別府の街を一望できる14番ホールだろう。

天然露天風呂付きの宿泊施設もあるの、ぜひ利用したい。

## 別府ゴルフ倶楽部 鶴見コース

大分県杵築市山香町久木野尾1753  
☎0977-44-6002  
アクセス：大分自動車道・速水ICより1km  
18H 6842Y Par72  
コースレート：72.7  
設計：油屋熊八、島崎悦吉など

**GDO評価 ★★★★★ 3.7**

9ホールからスタートした、九州で2番目に古いコース。岳ヶ下山麓に沿うように手造りされ、丘陵の持つアンジュレーションがそのまま活かされている

## グリーンオーバーは厳禁! 空に浮かぶ オールドコース

14H 569Y PAR5  
80年以上、変わらず 湯の町を見下ろす

1~2打目が打ち上げて、距離のあるロングホール。3打目で突然、開ける景色は圧巻。別府市街や別府湾を一望することができる

## ESTABLISHED 1930 別府ゴルフ倶楽部

### 別府に生まれて80余年 湯の町クラシコ

歴史の手造り9ホール!

クラシカルな雰囲気漂うクラブハウス内のレストラン。静謐な中に積み重なる歴史を感じる

### 九州の名士たちに愛された、別府社交場

眼下に別府湾、遠くに九重連山を望む別府ゴルフ倶楽部は、1930年8月3日、9ホールから産声を上げた。当時、すでに日本最古のパブリックコースである雲仙ゴルフ場は開場しており、ほかに福岡GC大保ゴルフ場、長崎ゴルフ倶楽部諫早という3つのコース（この2コースは第二次世界大戦で消滅）が存在していた。そんな中「別府の町にもゴルフ場を」と、別府観光の父として知られる油屋熊八が豊岡の地へ、九州4番目となるゴルフ場を建設したのが、現在の別府ゴルフ倶楽部・鶴見コースだ。当時は「別府ゴルフ倶楽部リンクス」と呼ばれ、北九州地区の政財界人のみならず、全国の名士までもが通い、別府の社交場としての役割も果たしたという。

クラブハウス内に飾られた写真の数々から当時の様子を窺い知ることができ、当初からほぼ形をかえていないというコースをラウンドしてみれば、さらに深くこのコースが持つ歴史や伝統、さらに、草創期の日本ゴルフの息吹を感じることができるはずだ。

開場当時の1シーン。こういった写真が多く展示されている

**history**

- 1930年 8月3日開場。総工費20万円を投じ、9ホールでオープン
- 1938年 18ホールに拡充。終戦後、進駐軍に接収され、コースは荒れ放題となる
- 1954年 島崎観光開発が買収。島崎悦吉が経営会社を立ち上げ買収荒れ果てたコースの復旧に尽力する
- 1955年 27ホールに拡充
- 1993年 36ホールへ拡充
- 2007年 PGMグループの傘下に入り、再スタートを切る





# このまま、まっすぐ帰れるわけなか!

# 別府温泉

**ゴルフ疲れを、別府の湯に癒してもらおう**

そのです。せっかく湯の町に来たのに、ゴルフが終わったら、トンプン帰り。そんなことしたら、温泉の神に叱られるっちゃけん！

せっかく来たんだから、その地の食べ物や、名物を味わわないと損です。ここ別府の町は、高速道路で別府付近まで来た時点で、車内に温泉のいい香りがプーン。右を見ても左を見ても、湯気、湯気、湯気。しまいには路肩のU字溝からもモクモクと湯気が出ている始末。こりゃ温泉好きにはたまらん。

在の建物が完成。別府ゴルフ倶楽部と同世代のこちらにもまた同じく昭和初期の香りを色濃く残し、社交場としての共通点も持っているというわけです。普通湯だけでなく、砂湯も、せひ入りたいところ。暖かい砂に全身をうずめ約15分。体内の毒素だけでなく、ゴルフ疲れもすべて体外に出ていく感覚を覚えるはず。

市街を後にし、次に訪れたのは、ダイープな野湯。自然の中に突如、温泉が湧出している場所に「ドボン！」というアレです。取材当日は、付近の高速道路が通行止めになるほどの大雨と霧。そんな中、ずぶ濡れの取材班の前に現れたのは、別府扇山GC近くにある別府三大秘湯のひとつ「鶴の湯」。泉質や効能もさることながら、温度よし、肌触りよし、ロケーションよしの三拍子そろった至高の野湯。地元の方々がこまめに掃除をしてくれているようで、清潔感あふれる浴場と自然の恵み溢れるお湯に感謝しつつ、マナーを守って「ドボン！」しましょう。

定員3名、幻の湯  
山の中に、突如現る  
至高の野湯!



**別府三大秘湯の一つ 鶴の湯**  
お湯が足元から湧き出す、いわゆる「足元湧出泉」は、全国に数10カ所しかない貴重な温泉。中でもここは温度調整もされていない、まさに奇跡の湯だ。場所は明彦温泉の近く。地元の方も親しむ小さな温泉なので、マナーに注意しつつ、探してみてください

明治12年創業!!  
ここは神隠しの世界か!?



**竹瓦温泉**  
大分県別府市元町16-23  
☎0977-23-1585  
1879年に創設され、別府温泉のシンボルといえる名門浴場。普通入浴100円、砂湯1030円

気持ちよかどね?

別府八湯の筆頭格。泉質は炭酸水素塩泉で、切り傷や火傷、皮膚病、神経痛、関節痛、筋肉痛などに良いとされる。砂湯もあり、こちらも満喫したい

**上田治設計 小雨に煙る湯の町リンクス!**  
別府扇山GC

大分県別府市大字鶴見4550-1  
☎0977-24-2433  
アクセス：大分自動車道・別府ICより2km  
18H 6611Y Par72  
コースレート：71.3  
設計：上田治

GDO評価 ★★★★★☆3.8  
別府湾を見下ろす丘陵コース。適度なアンジュレーションを持ちつつ川やバンカーが効果的に配置されており、絶景なだけでなく、攻略し甲斐もある18ホールとなる



こんなにあるぞ! 湯の町ゴルフ場



**別府温泉**  
世界的に有名な湯の町は、まさに石を投げれば温泉状態。市内は常に温泉の香りが充満